

會員異動 他

編集後記 アンケート調査 (p. 153) へのご協力をどうぞよろしく願いいたします。回答者の中から抽選で 3 名様に粗品を進呈します。(編)

お詫びと訂正

前号、第 56 巻 1 号に下記の要旨の脱落がありました。著者の皆様大変ご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正いたします。

第 32 回大会実行委員会

脱落部分 (101 ページ下段) :

P59 ○川井浩史*・羽生田岳昭*・M. Lindeberg**・S. Lindstrom*** :
褐藻コンブ目の新分類群 *Aureophycus aleuticus* gen. et sp. nov. の形態
と分子系統

アラスカ州環境保護局等による沿岸海洋生物多様性調査において、2006 年 7 月アリューシャン列島中央部の火山島である Kagamil 島で、既知の種とは全く異なる形状の大型コンブ類が発見された。本種は水深 5 m 程度の海底に大きな群落を作って生育しているが、藻体は全体を通して明るい黄褐色で、長さ 1 m に達する平たい茎状部と、長さ 2 m に達する披針形の葉状部からなり、直径 15 cm に達する円盤状の付着器により礫などの基質に着生している。葉状部は薄い膜状だが、茎状部への移行部は緑辺部が顕著に厚くなり、黄金色の V 字 (または Y 字) のような外観を呈する。藻体内部にはコンブ目に特徴的なトランペット状の仮根細胞系を有するが、粘液腔道や毛巢などの附属構造は見られない。2007 年の追加調査では新たに若い藻体も発見されたが、成熟した個体は依然として得られておらず、生殖器官はその形態・形成部位ともに不明である。rbcL 遺伝子、核 rDNA ITS 領域を用いた分子系統学的解析では、本種はコンブ目には含まれるが、既知の何れの科にも含まれず、チガイソ科の姉妹群となり、コンブ目の科レベルの進化を解明する上で鍵となる種であると考えられる。全長 3 m に達する大型海藻の新分類群が発見されることはきわめて希であるが、千島列島・アリューシャン列島では未だほとんど調査が行われていない海域も多く、今後さらに新分類群が発見される可能性もあるが、これらの海域では温暖化などによる急激な海況変化の影響が危惧される。

(* 神戸大・内海域センター, ** 米国・NOAA, *** カナダ・ブリティッシュコロンビア大)

P60 ○川井浩史*・羽生田岳昭*・川口栄男**・北山太樹***・冨田智****・内村真之*****・一木重夫***** : 小笠原諸島・父島の海藻類多様性調査報告 その 1

我が国を代表する海洋島の一つである小笠原諸島の海藻類多様性と海藻相の特性を明らかにする目的で、日本藻類学会の調査研究活動の一環として、2006 年 12 月および 2007 年 5 月に父島において海藻フロラ調査を実施した。調査は潮間帯における採集、スノーケリング・スキューバダイビングによる写真・ビデオ撮影と採集を行い、予備的な種名リストを作成した。現在、これらの標本につき画像データベース作成を行うとともに、同定作業を進めており、鯨坂哲朗、小亀一弘、山岸幸正、栗原暁、Ni Ni Win 会員らの協力も得て、形態および分子マーカーを用いた解析を行った結果、今回の調査だけで 100 を超える分類群の大型藻類が確認された。この中には未記載の新種として現在発表準備中なのが 2 種 (褐藻ウミウチワ属、紅藻ムカデノリ属) 含まれるほか、小笠原 (および日本) 新産種が約 20 種含まれており、これまで考えられていた以上にハワイの海藻植生がアジア東岸と類似していることを示唆する結果や、小笠原諸島の独自性を示す結果も得られている。

(* 神戸大・内海域センター, ** 九大・農, *** 国立科博, **** 北大・創成科学, ***** 港湾空港技研, ***** 小笠原村議)

自動振替による会費納入のお願い

会員各位

これまで何度かお知らせしておりますが、金融機関 (銀行、信用金庫または郵便局) 口座からの自動振替による会費納入が可能となりました。会員管理事務の効率化と経費削減につながりますので、ぜひ自動振替による会費納入をご検討いただきますよう宜しくお願い申し上げます。なお、自動振替の促進のため、引き落とし手数料 (税別 155 円) は当面の間は学会の負担とさせていただきます。また、2008 年度会費納入からは、自動振替をご利用の会員全員に領収書を発行させていただいております (送付は 12 月末の引き落とし後)。事務手続き上、外国会員につきましては従来通りクレジットカードによる、また学生会員につきましては郵便振替による振込みのみとさせていただきますので、悪しからずご了承ください。ご不明の点等がありましたら、下記事務局までご連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。 庶務幹事 (会員担当) 神谷充伸

【金融機関自動振替をご希望の方 (普通会員・団体会員・賛助会員対象)】 和文誌「藻類」53 巻 2 号に同封しました預金口座振替依頼書に必要事項をお書き込みの上 (銀行、信用金庫の場合は 2ヶ所、郵便局の場合は 1ヶ所忘れず捺印して下さい) 金融機関へご提出下さい。依頼書をお持ちでない方は下記の連絡先までご請求願います。自動振替は 2009 年度分からの適用となりますが、2008 年度およびそれ以前の会費未納分につきましても、下記事務局までご連絡いただければ自動振替による振込みが可能です。 ※ご注意: 残額不足などの理由により、振替指定日にご指定の口座から振替できなかった場合は、後日ご連絡いたしますので、お近くの郵便局で振込みをお願いいたします (振込み手数料をご負担下さい)。

【郵便局での振込みをご希望の方】 お近くの郵便局にて郵便振替票で振込みをお願いいたします。従来通り、振込み手数料をご負担下さい。

振込先: 口座番号 01640-8-2747 加入者名 日本藻類学会

【お申込み・お問い合わせ先】 〒917-0003 福井県小浜市学園町 1-1 福井県立大学 神谷充伸 宛 Tel & Fax : 0770-52-9606